

甲子園大学における教員養成の目標

本学は、「黽勉(びんべん)努力」「和衷協同」「至誠一貫」を建学の精神としています。本学における教員(栄養教諭)の養成に関しても、この建学の精神に従い「自らの心に従って、自発的に勉め励む教員」「和やかに他者と心を合わせ、事に当たる教員」「誠をもって人に接し、物事に対処して、一筋に真心を貫き通す教員」の育成を目標に掲げております。

以上の目標を達成するために、本学の教職課程では、以下のような取り組みを計画しています。

1. 自らの心に従って、自発的に勉め励む教員

変化が激しい現代の栄養教諭には、栄養に関する専門的で最新の知識を常に更新していく姿勢とともに、古い知識や経験に過度にとらわれることなく、常に自らの実践を省察し、実践の中で学び続けていくことが求められています。本学における栄養教諭の育成は、栄養のスペシャリストであるとともに、時代の要請に応えて、新しい情報の獲得と時代の変化に柔軟に対応して学び続けていくことができる姿勢を持った教員であることを目指します。

2. 和やかに他者と心を合わせ、事に当たる教員

栄養教諭には、1つの学級や1つの学年だけでなく、学校全体、さらには1校だけでなく、複数の学校にまたがって指導できる力が求められます。そのためには、日常的に学級担任をはじめ、他の教職員との連携、さらには保護者や地域住民との連携が不可欠となります。本学においては、グループ活動を多く取り入れ、集団討議、集団決定、集団での作業等を通して、コミュニケーション能力や協調性の豊かな教員の育成を目指します。

3. 誠をもって人に接し、物事に対処して、一筋に真心を貫き通す教員

信頼される教員になるためには、子どもへ愛情をもって接することはもちろん、すべての人に誠意を持って接することが必要です。そのためにも、本学では、栄養教諭としての使命感と教育への情熱を身につけさせ、子ども、親、地域の人々から信頼される教員の育成を目指します。